

みんなが主役 クラブ活動日誌

File #9 東庄町陶遊会

陶芸は炎の芸術といわれていますが、同じ条件で作品を焼いても釉薬（やきものにつける薬で、色を付れたり光沢や味わいをだす）の付着量や窯入れの場所により作品の発色が変わってきます。人それぞれに釉薬の付着量が違うのでそこに意外性があり、狙った以上によい発色になったり、その逆もありません。よいところはさらに伸ばし、悪かったところは改める。そのために作品のデータを記録して次に工夫を加え活かすのも、陶芸の魅力です。

陶遊会は平成20年に陶芸を趣味とする人たちが結成され、現在は38人で活動しています。活動内容はおのの作品作りのほか、新しいことを取り入れるために陶芸技法の勉強会など定期的に行っています。また、文化祭などのイベントで作品を展示したり、陶芸未経験者を対象とした陶芸教室なども行っています。陶



▲絵付け

芸はセンスは必要ありません。必要なのは「こんな作品を作りたい」という気持ちです。初心者大歓迎ですので、一度陶芸教室で体験してみてください。



活動メモ

対象者 / 町民、町内勤務者
(年齢は問いません)
活動日 / 日・木・土 (隔週)
活動場所 / 公民館神代分館
(旧神代幼稚園)
連絡先 / 町公民館を通してご連絡
ください
☎86-1221



▲医療従事者への感謝を込めて

ドキドキの花火の撮影。「広報に載せられるような写真を撮れるだろうか」と不安に思っていました。終わってみたらすごく楽しかったです。花火の撮影は、シャッタースピードを短くしてしまうと点になってしまふので、シャッターを数秒間開けっ放しにして光を取り込みます。写真は一瞬を切り取る印象でしたが、時間を切り取っているんだなあと感じられました。花火を撮る機会なんてめったにないので、勉強になりました。「もっとこうすればよかったなあ」という思いもありますが、それは次に活かそうと思います。これからの時期は、夜景や星空の撮影も楽しみですね。(T)

旬の風

広報東庄

人が輝き地域が光るまち・とうのしょう

Tonosho Town Public Relations



2020 **12**
No.656



秋の夜空に咲く希望の花

PHOTO/とうのしょう花火

11月8日(日)に行われた「とうのしょう花火」はたくさんの人に感動を与えました。写真は町公民館から撮影。
(関連9ページ)

主な内容

- 東庄散歩ぶらり歴史めぐり— ②
- タウンピックアップ— ⑨
- くらしのカレンダー— ⑫

